

平成28年11月24日(木)  
国土交通省関東地方整備局

記者発表資料

平成28年度第7回 関東地方整備局事業評価監視委員会の開催結果について

関東地方整備局では、平成28年11月22日に、公共事業の効率性及びその実施過程の透明性の一層の向上を図るため、事業評価監視委員会を開催しましたので、審議結果をお知らせします。

議事概要は、別紙1のとおりです。

※配付資料については、関東地方整備局ホームページでご覧下さい。

関東地方整備局HP(<http://www.ktr.mlit.go.jp/>) → 社会資本整備 → 関東地方整備局における公共事業の評価

URLダイレクト入力の場合 <http://www.ktr.mlit.go.jp/shihon/index00000018.html>

発表記者クラブ

竹芝記者クラブ、埼玉県政記者クラブ、神奈川建設記者会、横浜海事記者クラブ、茨城県政記者クラブ、栃木県政記者クラブ、刀水クラブ・テレビ記者会、千葉県政記者会、都庁記者クラブ、神奈川県政記者クラブ、山梨県政記者クラブ、長野県庁会見場、長野市政記者クラブ、長野市政記者会

問い合わせ先

国土交通省 関東地方整備局 TEL. 048-601-3151 (代表)

FAX. 048-600-1372

企画部 技術企画官 いしおか 石岡 つとむ 勉 (内線3126)

企画部 企画課 課長補佐 かいづ 海津 よしかず 義和 (内線3153)

(別紙1)

平成28年度第7回 関東地方整備局事業評価監視委員会  
議事概要

1. 日 時 平成28年11月22日(火) 16:00～
2. 場 所 さいたま新都心合同庁舎2号館 14階 「災害対策本部室」
3. 出席者

[委員長]

朝倉 康夫 (東京工業大学環境・社会理工学院教授)

[委員]

朝香 博 (東京商工会議所地域振興部長)

楓 千里 (株式会社JTBパブリッシング取締役法人情報事業部長)

加藤 一誠 (慶應義塾大学商学部教授)

加藤 浩徳 (東京大学大学院工学系研究科教授)

田中 規夫 (埼玉大学大学院理工学研究科教授)

若松 加寿江 (関東学院大学理工学部教授)

(敬称略、五十音順)

[関東地方整備局]

局長 大西、副局長 高田、副局長 上田、総務部長 河井、  
企画部長 大野、河川部長 朝堀、道路部長 村山、港湾空港部長 加藤、  
営繕部長 吉野、用地部長 藤川 他

4. 議事概要

(1) 挨拶

関東地方整備局長

(2) 審議

1) 再評価

対応方針(原案)の審議(河川事業1件、道路事業3件、港湾事業2件)  
・事務局が説明した再評価案件6件は、対応方針(原案)のとおり  
了承する。

<評価対象事業>

事業名	事業箇所名	事業主体	対応方針 (原案)	審議結果
河川	ハツ場ダム建設事業	関東地方整備局	継続	了承
道路	中部横断自動車道（富沢～六郷）	関東地方整備局	継続	了承
	中部横断自動車道（八千穂～佐久南）	関東地方整備局	継続	了承
	一般国道 20 号 大月バイパス	関東地方整備局	継続	了承
港湾	鹿島港外港地区国際物流ターミナル整備事業	関東地方整備局	継続	了承
	川崎港東扇島～水江町地区臨港道路整備事業	関東地方整備局	継続	了承

<委員からの主な意見等>

- ・ 中部横断自動車道（富沢 ～ 六郷）については、以下の付帯意見をもって原案どおり継続とする。
  - ①出来る限り早期に供用出来るよう工程管理に努めること。
  - ②引き続きコスト縮減を図るとともに、更なる事業費増加とならないようコスト管理の徹底に努めること。
  - ③地元とも連携し、供用後にストック効果が発現されるよう努めること。